

公平な採点は  
できません！

# 都立高校入試への スピーキングテスト導入 延期・見直しを 求めます！

各中学校などで行われているスピーキングテストに反対しているのではありません。スピーキングテストを、「入試に使うこと」に反対しています

## ご存じですか？

2022年度の中学校3年生から、都立高校入試で英語スピーキングテストが導入されようとしています。

何が問題なの？

## 8万人もの中学3年生の公平で客観性のある採点はできません

都は教育産業のベネッセと協定を結び、ベネッセはフィリピンの組織(詳細を都教委は開示せず)に委託し、45日間で採点することになっています。

8万人もの生徒の、スピーキングの微妙な採点の仕方のすり合わせが、採点者(何人いるのかも不明)の間でできるとは思えません。

## 大学入試でダメと言われたものは、高校入試でもダメ

大学入試共通テストで、記述式とスピーキングテストの民間試験が導入されようとしたが、「採点の公平性を保証できない」ことから中止されました。当然、都立高校入試でも中止すべきです。



## 授業・英語教育へ悪影響

「発音など間違えても気にせず話そう」という指導をしているのに、「入試だけは別」ということになると、普段の授業から発音・文法に気を遣うこととなります。生徒が委縮し、コミュニケーションそのものに消極的になっては、元も子もありません。

## 家庭の経済格差が得点の格差になりかねません

家庭教師や塾などで経験を積んだ方が有利になる可能性が大いにあり、家庭の経済格差がテストの得点の格差に結びつく可能性があります。

## 一教科の調査書点に相当の点を総合点に加える、で良いのか

入試は学力検査と調査書点の総合点にスピーキングテスト20点が加わります。5教科(国語、社会、数学、理科、英語)の調査書点は一教科当たり約23点です。

スピーキングテストの点数はほぼ一教科分の調査書点に相当します。英語だけにこれほど大きな点数を与えて良いのでしょうか？

## 現在都教委が進めている採点ミス防止策にも反します

2014年採点ミスが起き、都教育長含む351人が処分。マークシート方式などの再発防止策を行っています。スピーキングテストは、採点ミスが起きているかどうか分からない仕組みです。再発防止策に反するのではないのでしょうか。

ネット署名と紙の署名にご協力をお願いします。(紙署名は都議会へ、ネット署名は教育委員会へ提出します。)

ネット署名はこちら



呼びかけ団体

都立高校入試へのスピーキングテスト導入の中止を求める会

ご質問・ご意見は：stoptokyospeakingtests@gmail.com

取扱い団体